

LEAF

Liver Endoscopic Achievement Framework

肝臓低侵襲手術の普及に伴い、切除範囲に応じた肝臓解剖学的用語が見直され、解剖学的構造や手術の方法、術式の適応などを明確に定義できる表記法が選定されました。“New World”や“Tokyo2020”という表記法の提唱により、肝臓切除に関する共通の理解が促進され、医療の質が向上することが期待されています。今回のウェビナーでは、日本を代表するエキスパートの先生方から解剖学的知見を交えながら詳しくご講義いただきます。



3 / 12 19:00-20:00
2025 WED

座長



大塚 将之 先生

千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学 教授

演者



The New World Terminology:新しい肝切除術記載法の成り立ち 榎野 正人 先生

大同病院 顧問



Tokyo 2020 terminologyの意義 若林 剛 先生

上尾中央総合病院 肝胆膵疾患先進治療センター長



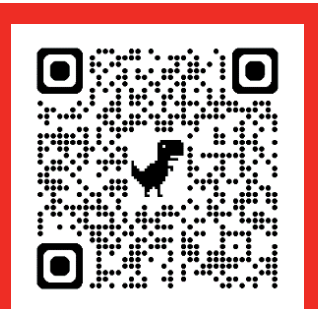
New World Terminologyに沿った肝切除の実際 齋浦 明夫 先生

順天堂大学 医学部 主任教授

日本内視鏡外科学会技術認定申請に必要なポイントが1点付与されます。
条件を満たされた場合、技術認定申請のための参加証明書を発行いたします。
※下記2点がともに確認出来ることが条件です。

- ①19:05～20:00までの視聴 ②視聴後のアンケートのご回答

登録URLはこちらから ▶ <https://x.gd/gzGD0>



共催：肝臓内視鏡外科研究会・ジョンソン・エンド・ジョンソン メドテック

後援：日本内視鏡外科学会
日本肝胆膵外科学会